

秘

受付 番号	No,	【通級(発達)用】 対象：全年齢
<p>令和 年度 浦添市教育支援委員会資料 (発達障がい通級指導教室用)</p> <p>申 請 書 (調査・検査に関する同意書含む)</p> <p>学 校 名 _____ 学 年 _____ 年 _____ 組 氏 名 _____</p>		

学級担任名	印
-------	---

同意書

下記の事項について同意いたします。

記

- 1 浦添市教育支援委員会に、下記児童生徒の就学に関する検査・調査を依頼すること。
- 2 検査・調査結果については、浦添市教育支援委員会が教育支援及び就学支援の手続きに使用すること、学校においては教育支援に活用すること。
- 3 審査結果報告書については、浦添市教育支援委員会が学校等関係機関において、教育支援に活用すること。
 以上

令和 年 月 日

児童生徒名 _____

保護者氏名 _____ 印 _____

生活実態調査表

ふりがな		現住所		生年 月日	年 月 日 年齢 () 歳
児童・生徒 氏名	男・女				
保護者 氏名		電話 番号	父・母・その他 ()	現住所	
①家族構成 (続柄は本人中心に)	続柄	氏名	年齢	勤務先・学校・学年	

② 保 育 ・ 教 育 歴	<p>1. これまでの保育・教育歴を教えてください。 【 [記入例] 生後～2歳：家庭保育 2歳～5歳：〇〇保育園 (加配保育) 6歳：〇〇幼稚園 (通常学級) 小学校1～2年：〇〇小学校通常学級 】</p> <p>2. 不登校、通園・登校しぶりが見られた時期はありますか？ (1) ある (2) ない →ある場合 _____ 歳頃 期間 (_____ ~ _____) 思いあたる原因： _____</p>
③ 障 が い ・ 疾 病 の 状 況 等	<p>1. 病院で障害や疾病があると判断されたことがありますか。 (1) ある (2) ない →ある場合 診断機関名 (_____) 診断時期 (_____ 才頃)</p> <p>※<u>診断書に記載のある</u>診断名 (該当するものを○で囲む)</p> <p>①ADHD (注意欠如・多動症/障害 (旧：注意欠陥・多動性障害)) ②視覚障害 ③聴覚障害 ④自閉スペクトラム症/障害 (旧：広汎性発達障害、アスペルガー障害等) ⑤知的障害 ⑥言語障害 ⑦LD (限局性学習症/障害 (旧：学習障害)) ⑧てんかん ⑨肢体不自由 ⑩情緒障害 ⑪その他 (_____)</p> <p>※投薬 (有 ・ 無) 投薬時期 (_____ ~ _____) 薬の種類、副作用など (_____) (_____)</p> <p>2. 手帳を取得していますか。 (1) 取得している (2) 特になし →取得している場合 (下記のあてはまる等級を○で囲む / 記入する) 種類：療育手帳 (A1 A2 B1 B2) ・身体障害者手帳 (_____) 級 ・精神障害者保健福祉手帳 (_____) 級</p>
④ 相 談 歴 ・ 各 種 検 査 歴 等	<p>1. 発達等が気になりだした時期 (_____) 歳頃 →どのようなことが気になりましたか。 [_____]</p> <p>2. 病院、その他関係機関で発達について相談したことがありますか。 (1) ある (2) ない →ある場合 (病院・児童相談所・教育センター・大学・福祉事務所・その他) 相談機関名： _____</p> <p>3. 今まで受けた検査 (直近で受けた日時を記入) ※学校での健診結果を含む (1) 今までに視力検査を受けたことがありますか。 イ ある (最新の検査日 _____ 年 _____ 月 _____ 日 ・ 場所 _____ 結果 _____) ロ ない (2) 今までに聴覚測定を受けたことがありますか。 イ ある (最新の検査日 _____ 年 _____ 月 _____ 日 ・ 場所 _____ 結果 _____) ロ ない (3) 今までに知能・発達検査を受けたことがありますか。 イ ある (最新の検査日 _____ 年 _____ 月 _____ 日 ・ 場所 _____ 結果 _____) ロ ない 【結果の記入例】 WISCIII (IQ:80 言語:73 動作:87)、 K式(DQ:75 認知:85 言語:70) その他の検査 (_____)</p> <p>(4) <u>今年、知能・発達検査 (WISC, K式, 田中ビネー 等) を受けた、もしくは受ける予定がありますか。</u> イ ある (検査日・検査予定日 _____ 年 _____ 月 _____ 日 ・ 場所 _____) ロ ない</p>

申請様式 4 - 2
 発達障がい通級指導教室

⑤現在の状態について、当てはまるものすべてに○をつけて下さい。	
聞く	1. 聞きもらしや聞き間違いがある（「知った」を「行った」と聞き間違える 等） 2. 個別に言われると指示を聞き取れるが、集団場面では難しい 3. 話の内容や指示の理解が難しい
話す	1. 適切な声の大きさや速さで話すことができない 2. 発音できない音や行がある 3. 話すときに文章ではなく単語を並べたり、乏しい内容の短い文を話したりする
読む	1. 字が読めない → （ ひらがな ・ カタカナ ・ 習ったことのある漢字 ） 2. 音読がたどたどしい 3. 文章の内容が理解できない
書く	1. 読めない字を書く → （ 形や大きさが整わない ・ 筆圧が弱い ・ 線が歪む ） 2. 板書を正しく書き写すことができない、または時間がかかる 3. 学年に応じた文章が書けない
計算	1. 学年に応じた計算ができない、または時間がかかる 2. 簡単な計算が暗算でできない（筆算でなら行うことができる） 3. 計算ミスが多い
推論	1. 学年に応じた文章題を解くのが難しい 2. 物事の因果関係（〇〇したから、△△になった）を理解するのが難しい 3. 早とちりや、飛躍した考えをする
不注意	1. 学校での勉強で、細かいところまで注意を払わなかったり、うっかりミスをしたりする 2. 学習課題や活動に必要な物を忘れて、なくしたりすることが多い 3. 課題や遊びの活動で注意を集中し続けることが難しい（課題の途中でぼーっとしている など）
衝動性 多動性	1. 落ち着きがなく、じっとしてられない、または何かに駆り立てられるように活動する 2. 高いところに上がったり、危険なことを平気でしたりする 3. 自分の感情をコントロールできない 4. 発作的にパニックになることがある
対人関係	1. 含みのある言葉や嫌味を言われても分からず、言葉通りに受け止めてしまうことがある 2. 友達と仲良くしたい気持ちはあるけれど、友達関係をうまく築けない 3. いろいろなことを話す、その時の場面や相手の感情や立場を理解しない
こだわり	1. 独特な日課や手順が本人の中で決まっており、変更や変化を嫌がる 2. 興味のないこと、苦手なことには取り組むことが難しい 3. とても得意なこと（教科）がある一方で、極端に苦手なこと（教科）がある
感覚運動	1. 体全体を使う動作やジェスチャーが不器用でぎこちないことがある 2. 不器用で、はさみを使うことや折り紙などの細かい作業が苦手である 3. 特定の音や光に過敏な反応を示す 4. 髪や体に触られることに過敏な反応を示す
生活習慣	1. 夜眠れない、朝起きられないなど生活リズムが整っておらず、日中の活動に影響がでている 2. 外見を気にしたり、衛生面に気を使うことができない（自発的に歯磨きや手洗いができない など） 3. 極端な偏食がある（白いご飯しか食べない など）

⑧ 所 見 ≪ 学 級 担 任 記 入 ≧	特別支援教育巡回指導員やスクールカウンセラー等からの支援についての助言（ 年 月 日）
	助言者(巡回指導員・スクールカウンセラー・SSW・その他()) [氏名:]
	(学校生活での状況、健康状態、課題、その他)